

ひふみのあゆみ

ひふみ投信 ご報告書
2010年3月19日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第1151号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



お客さまの資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用責任者から皆さまへのメッセージや当社社員のコラムをお届けいたします。

3月の中間運用報告

日銀の一段の金融緩和政策と内外金利差拡大による円安期待などを背景に、3月に入ってからの日本株は堅調に推移しています。チリの大地震の影響で銅の供給の減少懸念により銅の価格が押し上がったことを受け、資源関連企業の株価は堅調でした。

ここにきて日本企業収益の改善は著しく、コスト削減効果と増収効果により利益が出やすい状況になっています。また米国および中国の景気の足取りも堅調で、ギリシャをはじめとする欧州諸国の景気や金融状況に懸念を持ちつつも、株式市場はしばらく堅調な展開を示すのではないかと予想しています。当面二番底(景気および株式市場)の懸念が薄らぐのでは考えています。

最近の日本の株式市場の好調は、国内および世界の景気や株式市場への楽観視の広がり背景にあります。当面この流れは続くであろうと予想しています。

「ひふみ投信」は以前からお話している通り、その流れを受けて、総資産に対する株式組入比率を高めてきました。ただ急ピッチに株式市場が上昇して日経平均株価が11,500円を一気に突き抜けてくるような局面があれば、一度、株式組入比率を引き下げることを選択肢に持ち、慎重に対応したいと考えています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

ひふみのはてな

3月9日の「ひふみアカデミー」でお客様より頂いたご質問などを紹介します

3月9日の「ひふみアカデミー」には運用部のスタッフも同席し、企業訪問で感じたことなどもお客様にお話いたしました。今回に限らず、最近ノートパソコンを持参して熱心にメモをとられるお客様を複数お見受けします。私たちもお客様の熱意に負けないう、今後も真摯にご説明をして参りたいと改めて感じました。当日は肌寒い雨が降る中、お越しいただいたお客様に、改めて御礼申し上げます。

Q: 3月5日の「ひふみのあゆみ」で今後の投資先候補として書いていた「市場置き換え型」企業とは、具体的にどのようなものですか？

これは旧来の産業の中で、技術革新やシステムの変更により、今まで高いシェアを誇っていた企業から新しい企業がシェアを奪うことをイメージしています。その一つの例が「楽天」で、従来の店売りの小売販売店からインターネットを中心とする電子商取引への移行が進む中で、成長をして行くような企業です。以前からこのようなイメージに該当する企業には注目していますが、今後も上記のような「市場置き換え型企業」の組入れは積極的に進めていこうと考えています。

Q: 運用者が投資候補先の企業訪問などの現場で感じることは、実際の投資判断において大きな影響を与えますか？

投資をする際には、会社の収益状況やビジネスモデル、経営者の質などが大きな要素を占めており、会社訪問時の「印象」や「雰囲気」は投資における決定的な役割ではありません。しかしながら、私たちが将来の会社の成長性や経営者の質をはかるときにはとても重要な役割を占めます。

つまり、直接現場に行くというのはそこでしかわからない情報を取ることであり、その際にアナリストやファンドマネージャーが現場で感じる「印象」や「雰囲気」はとても大事になります。また裏を返せば、そのようなものを得るために現場に行くといっても過言ではありません。「印象」で投資はしませんが、「印象」が私たちの投資材料に大きな影響を与える、と言った方がいいでしょう。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみのむしめがね

当社の運用チームは、有望な投資先を探すために、日々調査活動を行ない、「見えないモノを見る力」の向上を目指しています。その中で注目した「事象」についてピックアップし、メンバーが月替りでお伝えいたします。「ひふみ投信」の組入銘柄に関する事項を含む場合がありますが、世の中のトレンドや新しいサービスなど、幅広い内容の中から抽出してお伝えいたします。なお、個別企業の記述につきましては、その投資推奨を目的とするものではありません。

【映画興行成績にみた消費者心理の変化と投資チャンス】

最近、映画は劇場で観ていますか？DVDやテレビで映画を楽しむこともできますが、劇場の大きなスクリーンで観ると音響等の迫力も家庭とは違いますよね。

昨年の日本国内での映画興行収入は2,060億円で、08年に比べて+5.7%と、この不況下にもかかわらず健闘しました。この統計は暦年で算出されるので、迫力ある3D映像で大きな話題となった作品「アバター」の効果は含まれていません。(ちなみに、「アバター」は一般的な2D映画よりも割高な料金です。)

昨年は夏以降に新型インフルエンザが大流行したために、「安・近・短」型の外食・レジャー産業などでも客足を大きく落としたところが多かったのですが、それだけに映画の収入の健闘ぶりは意外感もある数字でした。

好成绩の背景にはどんな要素があったのか？と要因分析をしてみると

- (1) 宮崎アニメ作品に依存しない邦画がコツコツ型ヒットを見せる底堅さ
- (2) 「ハリー・ポッター」シリーズなど洋画続編タイトルの積上げ
- (3) 消費者の好みの変化 等が挙げられます。



(1) ですが、2008年は興行収入1位だった「崖の上のポニョ」が150億円超のヒットを記録するなど、宮崎アニメのある年がそのまま邦画の好調年であったのが過去の特徴です。これに対し09年の1位作品「ROOKIES-卒業-」の興行収入は90億円弱に留まります。このことから、大型作品に依存せずに堅実なヒット作が量産されているという見方ができます。

また、「ROOKIES」がTVドラマから映画化されたように、民放テレビ局が映画興行やDVD販売など、制作コンテンツの二次使用による収益を重視した経営スタンスを取り始めていることもヒット作の量産に影響していそうです。

(2) 09年の洋画全体の興行収入は約890億円と08年の約790億円に対して大幅に増加しました。洋画1位の「ハリー・ポッターと謎のプリンス」は80億円と、100億円を超えることもあった過去の作品と比べると動員力は低下しているものの、「レッド・クリフ」「ターミネーター」シリーズなど、他に知名度の高い作品で続編の公開が多かったことが寄与しています。

(3) 消費者のエンターテインメントへの嗜好の変化がありそうです。背景のひとつは、TV番組の陳腐化に視聴者が飽きていることです。皆さんのご家庭の夕食時にはどのようなTV番組が流れていますか？どの局でもお笑い芸人を大勢揃えた番組が目につくと思います。不況でTV局の広告収入が減少する中で、低予算で面白い番組作りを求められた結果、芸人さんの活躍の場が増えたのは当然かもしれません。しかし、これらの多くが深夜枠から移動してきた番組であったりすることも多く、企画の新鮮さに欠けたり、どの番組も同じ出演者ということにも食傷感があると思われます。

「人々は不況下でも新たな感動や刺激を求めており、そこには消費動向の変化が必ず伴い、投資チャンスもきっとあるはず」。映画興業の数字やテレビ番組を見ながら、そのようなことを感じました。私達は日常で目にするニュースや出来事からも、新たなチャンスを探しています。

(レオス・キャピタルワークス(株)運用部)

ひふみのかいぜん

コミュニケーション・センターでは、「ひふみ投信」がわかりやすく・親しみやすい身近な投資信託となるために、サービスや業務の改善に取り組んでいます。その取組みについて毎月ご紹介いたします。

登録メールアドレスの変更手続きや電子交付のお申込をペーパーレス対応にしました。

各種お手続きには用紙のやりとりが行なわれ、記入や投函などのわずらわしさから、先送りしたり失念してしまうケースも多いと存じます。なるべくお客様の手間を省く方法はないかと考え、表題の2件をメールやお電話で受け付けるように社内処理を変更しました。お引越やプロバイダ変更により登録メールアドレスを変えたいお客様は、どうぞcc@rheos.jpまでご連絡ください。

そして、近くリリースするWEBサービスでは、上記だけでなく定期定額引落とし購入の金額変更もオンライン対応する予定です。ご住所や特定口座など、法令上書類の提出が必要になる手続きはありますが、可能な範囲でペーパーレス化によるストレスのない環境をご提供したいと考えています。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみサロン 「ゆたかな暮らし」について考える

① くつろぎのある生活 ② お金と向き合う(お金の活かし方) ③ これからの経済や社会を考える のいずれかのテーマに沿って「ゆたかな暮らし」についてのヒントを得るセミナーです。
毎回あらゆるジャンルの各界でご活躍のゲストをお呼びしてお話を伺います。このため、「ひふみサロン」ではひふみ投信の運用に関するご説明や質疑応答は特にいたしません。

4月の開催日程は、
近日ホームページで
お知らせします！

★3月 16日(火)開催分をUstreamで動画配信中！
前衆議院議員 佐藤ゆかり氏 「いまの日本、これからの日本」

こちらのURLで視聴できます→ <http://www.ustream.tv/recorded/5488467>

参加者の声(アンケートより):

- ・グローバルな勢いをローカルにつないでいくという視点のお話が面白かった。
- ・発想の転換により日本の将来もまだ明るい兆しが見えるのでは？と期待がもてました。

ひふみアカデミー ひふみ投信の運用について詳しく知る

月2回発行される運用レポート「ひふみのあゆみ」に沿って、運用担当者がどのような視点で経済・株式相場を考え、銘柄を選択しているかなどについてお話しいたします。ひふみ投信について、投資哲学や具体的な特徴・しくみについて詳しく知りたいお客様や、他の投資信託との違いが知りたいお客様向けのセミナーです。

◆4月6日(火) 19:00 ~ 20:30

ひふみサロン・アカデミーの開催場所 : レオス・キャピタルワークス セミナールーム

東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内27階
JR東京駅 八重洲南口より徒歩3分 / 東京メトロ 銀座線「京橋駅」より徒歩7分

地図はこちら→ <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

◆◆◆◆◆ お申し込み方法 (下記の中からお選びください) ◆◆◆◆◆

- ・ ホームページ <http://www.rheos.jp/func/seminarIntro.jsp> からお申込みください。
- ・ お電話 コミュニケーション・センター(03-6266-0123)までご連絡ください。(平日9~17時)
- ・ E-mail cc@rheos.jp まで、①お名前 ②ご希望の日時 ③ご連絡先電話番号をご連絡ください。

直販投信会社10社が集結します！ 「直販ファンドが日本を元気にする！！」

お申込は、さわかみ投信のホームページで受付中です。

【大阪】4月11日(日) 13:30~16:30 大阪産業創造館

http://www.sawakami.co.jp/seminar_info/20100411.html

【東京】5月23日(日) 13:30~16:30 フォーラムエイト(JR渋谷駅徒歩5分)

http://www.sawakami.co.jp/seminar_info/20100523.html

他社が主催するセミナー

【広島】4月18日(日) 13:00~16:00 広島ファイナンシャルプランニング㈱主催 「2010闘魂！！投資録！！」

当社の藤野 英人が、さわかみ投信・セゾン投信の代表取締役とともに長期投資をテーマにお話をいたします。詳細のご確認ならびにお申込は、広島ファイナンシャルプランニング株式会社のホームページ(<http://hiroshimaafp.co.jp/>)までお願いいたします。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。